

## 2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
国語	現代の国語	2	1年次	三鹿裕明・藤井乙歌			
選択するときの条件	1年次に全員共通履修						
使用教科書	(三省堂) 精選 現代の国語 改訂版		使用副教材	(三省堂)「精選 現代の国語 改訂版 学習課題ノート」 (啓隆社)「新国語総合ガイド」			
科目の目標			道徳教育のねらい				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する能力を育成することを目指す。			人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。				
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	読解と論述			◎		○	
2	実用の文章	○	◎	○			○
3	思考力			◎		○	
4	表現力	○		○	◎		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
評価の観点	知識・技能		思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。定期考査では「知識技能」を、授業・課題への取組および提出物により「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」を評価します。						
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%		C: 目標に対する到達度が0%～44%		
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組		提出物	考査	
	知識・技能	○				◎	
思考・判断・表現	◎	○					
主体的に学ぶ態度	○			◎			

# 現代の国語 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況			
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元実施時数			実施反省	
				話す 聞く	書く	読む		
前 期	4 (4)	オリエンテーション(1) 1 知らないものに出会う(3)	国語の学びの目的と学習の概要を理解することができる。 物を介したコミュニケーションのあり方から、人間や社会について考えを深める。	授業についてのガイダンス(1) 「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」(1) 「〈対話の場〉としての図書館」(2)	1		2	
	5 (6)	2 文化を見つめる(6)	比較することで対象の特徴を明らかにする論理展開の仕方を理解する。	「水の東西」(3) 「無彩の色」(3)	2	3	1	
	6 (7)	3 情報社会を生きる(12)	筆者の主張とその論拠を読み取るを通して、複数の文章や図表を関連づけて、自分の考えを深める。	「ポスト真実時代のジャーナリズム」(7)	3	2	2	
	前期中間考査(1)							1
	7 (5)			「SNSで暴れるナラティブ」(5)	1	2	2	
	8 (4)	4 言葉と向き合う(4)	言葉の使われ方を見つめ直し、用例を検討して語句の意味や用法について理解する。	「ものごとことば」(1) 「語彙力を鍛える」(1) ・オリジナル辞書を作ろう(2)	1	1	2	
	9 (7)	5 経済から世界を捉える(7)	ものを介したコミュニケーションのあり方から、人間や社会について考えを深める。	「贈り物と商品の違い」(3) 「経済の論理／環境の倫理」(4)	1	5	1	
	前期期末考査(1)							1
	10 (8)	6 思考の枠組みを広げる(8)	文中で引用された具体的な事例をもとに筆者の考えを理解する。	「ありのままの世界は見えない」(3) 『『多様性』という言葉への違和感』(3) ・「夢十夜」(DL教材)(2)	3	4	1	
11 (7)	7 科学技術を問い直す(7)	筆者が提起する新たな問題について、根拠を示して自分の考えをまとめる。	「人がアンドロイドとして甦る未来」(3) 「人間にできて機械にできないこと」(3) ・調べたことをレポートにまとめよう(1)	2	4	1		
後期中間考査(1)							1	
12 (5)	8 自然とともに生きる(5)	多面的な観点からの論理展開を理解し、異なる立場との合意形成のあり方について考えを深める。	「木の葉と光」(2) 「自然をめぐる合意の設計」(2) ・ヒグマとどう共生するか(1)	1	3	1		
1 (6)	9 生命について考える(6)	体験に基づく筆者の主張を読み取り、倫理や哲学といった概念を理解する。	「ポストコロナの生命哲学」(2) 「ヒトゲノム研究に関する基本原則」(2) 「命は誰のものなのか」(1) ・「羅生門」(DL教材)(1)	2	3	1		
2 (3)	10 多文化共生社会を創る(7)	思考・価値観・世界観の多面的構造を理解し、現代社会の課題について考えを深める。	「異なる文化との出会い」(3) 「共生社会で求められる「相対的よそ者の弱点」(4)	1	1	1		
後期期末考査(1)							1	
3 (4)				1	2	1		